

力動的危機介入の実際

キーワード：危機、レジリエンス、PEA 紐過程、危機介入

災害、事故、犯罪、虐待によって、人が進退窮まる事例が増えています。教師の指導を受けた後に自殺してしまう事例、高い能力を持って生まれながら、虐待危機介入の助けを得られないままに行動化を繰り返すことも、身体の危機に助けを得ながら PTSD、PTSD を長きにわたって抱えてしまう例が非常に多いことがわかってきています。深刻な自然災害、震災も続いています。身体の死の危機に伴う精神の死、心の死に関わる危機対応の訓練は、絶対に欠けています。東日本大震災以来、本学会で蓄積してきた臨床対応処方、WHO の関心も引き、今起きている災害事態にも、これから起こりうる災害に備えるためにも、貴重な臨床知となっています。

心の死の危機に対応するには、力動的視点が欠かせません。危機対応は力動的な心理療法そして精神看護領域のセルフケア・セラピーにおける専門性の柱でもあります。自分を失ってしまう、すなわち自我自律性の傷つきの大きさによって、助けを自ら求めることができない子供や大人が増えている臨床実態を踏まえ、心の危機介入の基本理論と技法を体験的に学ぶワークショップを行います。身近な事例を持ってお集まりください。

日 程：2018 年 11 月 11 日（日）
9:30～14:30

講 師：小谷 英文 Ph.D.

（IADP 理事長・国際基督教大学名誉教授）

参加費：一般専門家 7,000 円

IADP 会員・大学院生 **6,000 円**

対 象：心の教育・治療に関わる専門家で、力動的な心理療法／精神療法・精神分析・力動論・集団力学に関心のある方、専門家を目指す大学院生

会 場：CSA 貸会議室「ペガサート」会議室 A

〒422-8581 静岡市葵区御幸町 6-1

2018 年度
国際力動的
心理療法学会
主催

プレカンファレンス
特別研修
プログラム

2019 年 3 月に静岡で開催される本学会に先立ち、学会主催ワークショップを静岡で行います。静岡の専門家の先生方、力動的な心理療法にご関心のある方はこの機会にぜひご参加ください。

**第 24 回 IADP
年次大会のご案内**

大会会長：

嶋田一樹

（静岡県立子ども病院）

日時：

2019 年

3/1(Fri)-3(Sun)

大会テーマ：

「レジリエンス」

会場：

静岡県コンベンションアーツセンター
「グランシップ」

CSA 貸会議室

「レイアップ御幸町ビル」

詳細は学会 HP へ

国際力動的な心理療法学会（IADP）主催 プレカンファレンス・ワークショップ

学会ホームページ: <http://www.iadp.info/>

国際力動的心理療法学会

International Association of Dynamic Psychotherapy (IADP)

1995 年、理事長の小谷英文博士（国際基督教大学名誉教授）と故 Edward L. Pinney 博士（元アメリカ精神分析医協会会長）によって設立された。心理療法に関する本質的知識と技術の集積を力動的見地から行い、心理療法の人類にとっての意味を深め、その臨床効果性を高める研究を推進することを目的とした学会である。

申込方法

下記の必要事項をご記入の上、郵送、FAX または E-mail にて学会事務局までお申込下さい。

- ①お名前 ②ご年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号 ⑥ご所属・職種 ⑦最終学歴
- ⑧会員／非会員 ⑨本プログラムをお知りになったきっかけ ⑩本プログラムへのご関心

* 申込用紙は IADP ホームページよりダウンロード出来ます。ぜひご利用下さい。

* 申込締切：2018 年 11 月 9 日（金）18 時まで

お申込・お問い合わせ先

〒153-0041 東京都目黒区駒場 2-8-9 パス心理教育所内 学会事務局

E-mail: iadp@iadp.info 電話・ファックス：03-6407-8201

会場までのアクセス

CSA 貸会議室 ペガサート

〒420-2857 静岡市葵区御幸町 3-21

JR「静岡駅」より徒歩 6 分

静岡鉄道「新静岡駅」隣接

